

GLOBAL 国際

大学間交流協定校との連携強化とDXにより ニューノーマル時代における新たな 多文化共生・グローバルキャンパスを創造する

コロナ禍で国際交流活動が低迷する中、オンライン環境の整備など教育のDXを進め、最大限の国際交流支援を実施しました。

今後は、交流協定校等との連携強化と海外拠点の活性化により、学生・教職員の国際交流を推進するとともに、グローバルキャンパスを創造し、世界に開かれた大学として技術科学の国際拠点を形成します。

今までの取組

大学間交流協定締結校 協定校は世界に28か国75大学 (2022年5月現在)



外国人留学生数
(2022年5月時点)

学部:130人 博士前期:89人 博士後期:34人 非正規生:19人
全学生に占める留学生の割合:約13%

実績

✓ スーパーグローバル大学創成支援事業

本学は、開学以来培ってきた教育力・研究力を土台としつつ、スーパーグローバル大学創成支援事業を推進し、「グローバル技術科学アーキテクト」養成キャンパスへの変革を進めています。本事業では、1.グローバル技術科学アーキテクト養成コース(GAC)への学生受入れ 2.シェアハウス型グローバル学生宿舎(TUT Global House)でのプログラム実施 3.重層的なグローバル人材循環の加速と定常化の3つを取組の柱としています。

2021年度は日本人学生96名、留学生48名がTUT Global Houseで共同生活を送りました。GACの教育プログラムの1つである生活・学習プログラムでは、多様性に富んだ「であい」を通じ、居住する全ての学生の学び合い、心身の健康、永続的な友情を追求することをミッションとし、職員主催の生け花体験会、浴衣着付け体験会などの文化交流会や学生主催の夏祭りなどを実施することで学生同士の学び合いを支援しました。



✓ 大学の世界展開力強化事業 ー日・EU戦略的高等教育連携支援ー

2019年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択され、2020年度から、情報・知能工学専攻において「近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム」をスタートしました。

本学の博士前期課程に在籍しながら、本学の学位とEUの提携大学(東フィンランド大学(フィンランド)、ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)またはサンティエヌ ジャン・モネ大学(フランス))の2大学の学位が取得できるプログラムです。

新型コロナウイルス感染症拡大のため、第1期EU側学生の2021年度の渡日はできず、オンラインを主体としてプログラム履修を行いました。第2期生は、2021年9月までに日本側学生を含む全員が欧州入国をし、現地でプログラム履修を行いました。



将来展望

多様な国際連携プログラムで教育研究のグローバル化を推進

今後は海外大学との連携を強化することによって、ダブルディグリープログラムや大学の世界展開力強化事業などの学位取得プログラム、単位取得型の中期の留学プログラムをより一層充実させていきたいと考えています。また、大学間交流協定の実質化に基づく学生交流や教職員の研修プログラム、国際共同研究の支援など、多様な国際連携プログラムを通じて本学の教育研究のグローバル化を推進してまいります。さらに、学生のうちに海外からの視点で俯瞰的に日本を見ることができるとして、世界で活躍できる実力と情熱に溢れた学生が育つよう、そのための環境構築に力を入れてまいります。